

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	交通安全啓発推進事業		
事業担当	まちづくり政策部 交通政策課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'01	①〈安全〉災害に強い安全なまちづくりを進める	
	'01	1 安全に対する意識を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
全国交通安全運動など、各種の交通安全啓発運動の実施や幅広い年齢層を対象とした交通安全教室を開催することにより、市民の交通安全意識の高揚が図られています。		交通安全を推進するため、各季の交通安全運動やキャンペーン等を行います。また、幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象に交通安全教室を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	交通安全教室開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	160	180	160	180	
	実績	212	213	239		
活動指標②	指標名	交通事故防止キャンペーン開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	12	12	12	18	
	実績	23	24	24		
成果指標①	指標名	交通安全教室参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	15600	16000	16000	18000	
	実績	20599	21100	23141		
成果指標②	指標名	交通事故発生件数			単位	件
	説明・算定式					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標	2170	1740	1720	1600	
	実績	1746	1633	1504		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成24年度の主な取組と成果						
平塚市交通安全対策協議会による啓発活動、及び保育園や学校等における交通安全教室の継続的な開催により、交通事故発生件数は平成23年に比べ129件減少しました。幼児2人同乗用自転車レンタル事業においては、27人に貸し出し、啓発を図りました。						
平成24年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民に対する啓発活動を実施することにより、交通事故の抑制に寄与しており、必要性は高いものと考えます。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	教室参加者の交通安全意識の向上が図られ、継続して実施することにより交通事故の抑制に寄与しており、交通安全対策上有効です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	キャンペーンや交通安全教室を実施することにより交通事故の抑制に寄与しており、妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	地域、企業等と連携してキャンペーンや交通安全教室を実施し、広く市民に対して交通安全意識の向上を図っていきます。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 地域や企業等と連携してキャンペーンや交通安全教室、高齢者家庭訪問事業等を通じ、広く市民に交通安全意識の向上を図り、継続して事業を実施する必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		交通安全教室、各種キャンペーン等の開催、三人乗り自転車の普及啓発	交通安全教室、各種キャンペーン等の開催、三人乗り自転車の普及啓発	交通安全教室、各種キャンペーンの開催	交通安全教室、高齢者家庭訪問事業、各種キャンペーンの開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	4,754	3,936	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	11,783	10,812	10,707	10,336
事業費 (A)		16,537	14,748	10,707	10,336
執行率 (%)		97.33	94.67	98.27	
内訳	職員 (人)	1.20	1.45	1.80	1.80
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		9,911	11,751	14,427	14,307
フルコスト (A+B)		26,448	26,499	25,134	24,643

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針 これまでの啓発活動を継続し、現在の減少傾向を維持します。自転車と高齢者関係の事故は依然高い割合を占めているため、これまで同様、関係団体と連携して交通安全教室・キャンペーンや高齢者家庭訪問事業等の相乗効果を図りながら実施し、更なる周知を図ります。
課長コメント 平成24年の交通事故状況は、昨年に引き続き発生件数・負傷者ともに減少しましたが、本市は高齢者や自転車事故多発地域に指定されていることから、引き続き警察を始めとする関係機関・団体と連携して交通事故防止を図っていきます。